| 担当科目 | 単位数 | 授業時間 | 担当講師 |
|---|---|---|---|
| 解剖生理学演習 | 1 単位<br>30 時間 | 1 年生 | 専任教員 |

《学習目標》

1．自分たちのからだは細胞からできているという視点で人体の構造と機能を学ぶ。
2．様々な要素が関連し、人体の機能が成立していることが分かる。
3．自己の学習目標を決定し、その目標達成に向けて取り組むことができる。
4．グループ学習における自己の役割を認識し、互恵的な学習に取り組むことができる。
5．学習の成果をわかりやすく伝えることができ、理解しようと努力することが出来る

| 授業内容 | 備考 |
|---|---|
| 1. オリエンテーション<br>1）演習の概要と目的について―解剖生理学演習を進めるために―<br>① グループ学習とは<br>② グループメンバーの提示（8 グループ）<br>③ 学習の進め方について | 講義 |
| 2，3. 川崎医科大学現代医学教育博物館見学 | |
| 4～8. グループ学習<br>・テーマとする生活行動について考える<br>・生活行動を構成する要素の抽出および学習 | レポートの提出<br>グループ学習 |
| 9～11. 発表準備 | |
| 12～15. 発表会 | |

《教科書》

系統看護学講座　専門基礎 1　解剖生理学　医学書院
看護　形態機能学　生活行動からみるからだ　日本看護協会出版（第四版）

《評価》

＜グループ学習＞　・参加状況と態度（自己評価・他者評価）
・毎回、議事録の提出
・発表会での他者評価および教員評価
・記録・資料・発表原稿など学習資料の整理